

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成27年度第4回和泉市市民活動支援制度判定会
開催日時	平成28年1月22日（金） 午前9時30分から10時30分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1階 小集会室
出席者	黒田会長、湯川副会長、青山委員、笠井委員、森吉委員 事務局（濱田公民協働推進室室長、藤井公民協働推進室総括主査、山本公民協働推進室主任、仲公民協働推進室主事）
会議の議題	・ 支援対象団体の実績報告にかかる審査について
会議の要旨	1. はじめに 2. 会長あいさつ 3. 支援対象団体の実績報告にかかる審査について 4. その他
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：0人 ・ 議事録の公開：有り

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【司会】

本日はお忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

只今から、平成27年度第4回和泉市市民活動支援制度判定会を開催させていただきます。私、本日の司会進行をさせていただきます市長公室公民協働推進室の藤井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議資料の確認をさせていただきます。本日配布させていただいております資料が次第と資料1から資料4までの資料となっております。不足資料等ございましたら、挙手いただきますようお願いいたします。ないようでございますので、次に進めさせていただきます。

本日の判定会の流れを簡単に説明させていただきます。次第2、黒田会長からごあいさつをいただいた後、次第3、今回実績報告があった9団体について、事務局より説明をさせていただきます、審査・判定をしていただきます。

次に次第4、その他として、今後のスケジュール等についてご報告させていただきます。

以上が本日の判定会の流れでございます。それでは、以後の進行について会長よろしくようお願い申し上げます。

【会長】

おはようございます。本日は、よろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に和泉市助成審査委員会規則第6条第2項の規定によりまして、会議の開催要件であります委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進めさせていただきます。

それでは、次第2の申請団体の実績報告にかかる審査を行います。申請のあった団体について事務局、一括で説明をお願いします。

【事務局】

公民協働推進室の山本より実績報告書の提出がありました9団体について、まとめてご説明させていただきます。着座にてご説明させていただきます。

まず初めに、お配りさせていただいております資料につきまして、ご説明させていただきます。資料1につきましては、各団体への交付決定額の一覧でございます。今回、提出のありました団体につきましては、黄色を付けさせていただいております。団体番号4、5、9、10、12、15、26、31、35の9団体でございます。次に資料2につきましては、当初予算と決算の内容が比較できるようにまとめさせていただいている資料でございます。

次に資料3につきましては、判定をしていただく資料といたしまして、各団体の総事業費や交付申請額、届出額等を記載させていただいており、各団体の実績内容が適正であるかを判定いただくシートとなっております。

それでは、各団体の実績内容につきまして、ご説明させていただきます。

まず、初めに団体番号4 鶴Oneフェスタ実行委員会でございます。

事業の内容といたしましては、地域のお祭りとして「鶴Oneフェスタ」を実施しており、地域住民の高齢化が進み、住民にとって「安全安心で成熟した町」を目指した地域再生の必要性を感じ、地域再生を進める上で、最も重要な「地域の絆」を育てることを目的に事業を実施されました。本事業の成果といたしまして、地域の団体による楽器

演奏、ジャズダンス、よさこい踊りなどの演舞などにより、地域と近隣地区などから600名を超す多数の方々の来場があり、世代間を超えて交流をすることができ、イベントを通じて、「人の輪（絆）」が生まれ、また、防災の啓発を行うことで自主防災意識の構築に結び付いたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初提出のありました予算書の収入500,000円に対し決算書では、376,837円となっており、123,163円の収入減となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあったところを中心にご説明させていただきます。

まず、旅費につきましては、当初予算額5,000円を計上しておりましたが、物品等の購入につきましては、近隣のスーパーやインターネットを利用して購入するなどにより経費の削減に努めたことで支出されなかったものでございます。

次に、消耗品費につきましては、当初予算額120,000円に対し、決算額が37,349円となっており82,651円の減額となっております。減額の理由につきましては、既存の物を使用することにより購入を減らしたことや当初予算で、防災用配布品を対象経費に見込んでおりましたが、「防災用配布品」については、前年度の実績報告で対象外となり、今年度事業についても対象外にしたことが主な要因でございます。

次に、使用料及び賃借料につきましては、当初予算額30,000円に対し、決算額が11,880円となっており18,120円の減額となっております。減額の理由につきましては、当初予定しておりました軽トラの使用を取りやめたことが主な要因となっております。

次に、原材料費につきましては、当初予算額70,000円に対し、決算額が46,954円となっており23,046円の減額となっております。減額の理由につきましては、子供会や老人会から材料の持ち込み等があり、原材料の購入が減ったことが主な要因であります。

次に、備品購入費につきましては、当初予算額40,000円を計上しておりましたが、前年度事業で購入した簡易テントや音響装置で今年度事業をまかなうことができたことで備品の購入をやめたことが主な要因であります。

最後に対象外経費として212,467円が計上されており、こちらは抽選会景品費や打ち上げ費用、防災用配布品等による経費でございます。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号5 ミータスコア・グループ未来でございます。

事業の内容といたしましては、「宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2015」を実施しており、2008年までは文化協会主催により実施されておりました「第九」演奏会がなくなってしまうことから「市民自身の手による市民のための「第九」」を和泉市に根付かせ、この「第九」をきっかけに、クラシック音楽の楽しさを味わっていただく場づくりと和泉市の文化芸術風土の更なる醸成を目的に事業を実施されました。本事業の成果といたしましては、一般公募により小学生から高齢者、また、留学生も含めた多くの方が参加し、プロの演奏者や来場者と一体となり、市民の参加度の高い形での演奏会を実施することにより、クラシック音楽の楽しさ味わうことができ、和泉市の文化芸術風土の醸成に貢献する事業となったとしており、また、今後の課題といたしましては、更なる認知度アップのためのPR活動とともに音楽構成等の内容面の一層の充実を図っ

ていくことといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

当初提出のありました予算書の収入1,300,000円に対し決算書では、1,179,778円となっており、120,222円の収入減となっております。

次に支出の部でございますが、

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず、報償費につきまして、当初予算額520,000円に対し、決算額が580,000円となっており、60,000円の増額となっております。増額の主な理由といたしましては、当初予算におきまして、交通費を旅費として計上しておりましたが謝礼を含めた形により支出したことで24,000円を報償費に変更し、また当初予算におきまして委託費に計上されておりましたステージマネージャーや司会者、受付等につきましても経費の性質から報償費に費目を変更したことによるものがございます。

次に消耗品費につきましては、当初予算額21,000円に対し、決算額が4,539円となっており16,461円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存の物を使用することにより購入を削減したことが主な要因でございます。

次に食料費につきましては、当初予算額18,000円に対し、決算額が4,626円となっており13,374円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算の都合上、経費を削減したことが主な要因でございます。

次に、印刷製本費につきましては、当初予算額110,000円に対し、決算額が21,710円となっており88,290円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、チラシやプログラムのデザインについて別途委託したことからその分の経費を委託料に費目を変更したことや、プログラム作成での領収書が適正なものではなかったため対象外に計上したことが主な要因でございます。

次に委託料につきましては、当初予算額97,000円に対し、決算額が58,150円となっており38,850円の減額となっております。減額の理由といたしましては、先程ご説明させていただいたとおりステージマネージャーや司会者、受付等を報償費へ費目換えをさせていただいたことが主な要因でございます。

最後に対象外経費として100,765円が計上されており、こちらは打ち上げ費用やプログラムの印刷等による経費でございます。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号9 北松尾校区ふれあいフェスタ実行委員会でございます。

事業の内容といたしましては、地域において希薄化する人間関係や社会関係を打破することを目的とし、活発な世代間交流をメインテーマに掲げ、各種団体による飲食コーナーや遊びコーナー等の数多くのブースを通じて、地域住民のふれあいの場となるよう地域間交流、世代間交流を深めることを目的とし事業を実施いたしました。

事業の成果といたしましては、世代間の交流も減少傾向にある中で、歌や踊りなどの発表する場を作り、また模擬店やバザーをすることによって、世代間の交流も増え、活力ある町づくりのきっかけづくりになったといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

当初提出のありました予算書の収入1,230,000円に対し決算書では、720,664円となっており、509,336円の収入減となっております。

続いて支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心ご説明させていただきます。

まず、報償費につきまして、当初予算額100,000円に対し、決算額が39,472円となっており60,528円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、予算の都合上、出演者を減らしたことが主な要因でございます。

次に食料費につきまして、決算額が30,105円となっております。内容といたしまして、出演者のお弁当代でございます。

次に印刷製本費につきまして、当初予算額80,000円に対し、決算額が11,766円となっており68,234円の減額となっております。減額の理由といたしましては、舞台の場所を変更したことにより、ポスターを張ることができなくなったため、ポスターの作成をとりやめたことが主な要因でございます。

次に使用料及び賃借料につきまして、当初予算額350,000円に対し、決算額が32,720円となっており317,280円の減額となっております。減額の理由といたしましては、いす、机等を自治会から無料でレンタルすることができ、予算の削減に努めたこと主な要因でございます。

次に原材料費につきまして、当初予算額250,000円に対し、決算額が136,844円となっており113,156円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算の都合上、材料費を削減したことが主な要因でございます。

次に消耗品費につきまして、当初予算額50,000円に対し、決算額が139,527円となっており89,527円の増額となっております。増額の理由といたしましては、舞台やチラシ等手作りで作成したことが主な要因でございます。

次に、役務費につきまして、決算額が10,400円となっております。内容といたしましては、イベント保険料、振込手数料等でございます。

最後に対象外経費として93,670円が計上されており、こちらはスタッフの食代やスタッフのみの会議での経費でございます。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号10 伯太フェスタ実行委員会でございます。

近年児童に関する様々な問題が生じており、そういった問題を解決するためには子どもと地域との密なコミュニケーションをとる必要があることから、伯太小学校を中心に各種団体、教員、PTA等が協力し、児童とその保護者及びその他の市民が楽しく交流できる場所を提供することを目的とし事業を実施いたしました。

事業の成果といたしましては、平成27年11月1日に伯太小学校において伯太ふれあいフェスタ2015を開催し、子どもや高齢者、地域の方々、教職員など様々な団体が準備から開催まで目的を共にすることにより、密なコミュニケーションをとることができ、一緒に楽しみ触れ合える模擬店を出店したり各種ゲームなどを行うことにより、地域の繋がりのきっかけになり、またイベントを通じ子ども同士の交流、また子どもと地域住民の世代間交流が促進されたといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

当初予算額の収入600,000円に対し決算書では、624,757円となっており、24,757円の収入増となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず、消耗品費につきまして、当初予算額74,000円に対し、決算額が317,726円となっており243,726円の増額となっております。増額の理由といたしましては、当初予算額で原材料費に計上されていた模擬店での経費を、消耗品費に費目の変更を行ったことが主な要因でございます。

次に原材料費につきまして、当初予算額より267,769円の減額となっております。減額の理由といたしましては、原材料費で計上していた経費を消耗品費に費目を変更したことが主な要因でございます。

次に使用料につきまして、当初予算額20,000円に対し、決算額が44,600円となっており24,600円の増額となっております。増額の理由といたしましては、模擬店で使用する機材については小学校ものを使用していたが、故障により使用できず、レンタルしたことが主な要因でございます。

次に役務費につきまして、決算額が10,000円となっております。内容といたしましては、廃棄物処理手数料でございます。

最後に、対象外経費としてスタッフの飲食代等について46,200円を計上しております。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号12 ガールスカウト大阪府第28団でございます。

地域における繋がりや交流するといった機会が減少してきていることから、野外活動を通じて楽しく交流する場をつくり、また、野外炊飯をすることで、子どもたちに「生きる力」を育むことを目的として事業を実施いたしました。

事業の成果といたしましては、幅広い世代の方に参加の募集を行い、参加者と一緒に野外活動を通じて季節を感じながら自然の勉強会や野外炊飯を経験することで子どもたちの生きる力を育て、幅広い世代間の交流につながり、また、青少年の家や槇尾山グリーランドで実施したことによって、参加者に自然豊かな和泉市のPRにもつながったといった内容の実績報告を提出されております。また雨天時でのキャンセルへの対策などが必要であるとの課題をあげられています。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、

当初予算額の収入100,000円に対し決算書では、107,840円となっており、7,840円の収入増となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず消耗品費につきまして、当初予算額14,000円に対し、決算額が69,034円となっており、55,034円の増額となっております。増額の理由といたしましては、ポイントラリーの台紙を手作りで作成したことや、当初予算では原材料費で計上していたクラフトの材料費を消耗品費に費目の変更をしたことが主な要因でございます。

次に食料費につきまして、当初予算で飲料代を計上していましたが、スタッフの寄付等でまかなったことで支出されなかったものでございます。

次に使用料及び賃借料につきまして、当初予算額25,000円に対し、決算額が8,900円となっており、16,100円の減額となっております。減額の理由といたしましては、会場使用料が予算当初の見込みよりも安く利用できたことが主な要因でござ

います。

次に原材料費につきまして、当初予算額27,000円に対し、決算額が13,014円となっており、13,986円の減額となっております。減額の理由といたしましては、実施日の週刊予報が雨天のため、多数のキャンセルがあり、材料費を減らしたことが主な要因でございます。

次に旅費につきまして、当初予算額3,000円を見込んでおりましたが、領収書が適正でなかったため、対象外に計上しております。

最後に、対象外経費として交通費等について、3,490円を計上しております。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号15 和泉だんじり大連合青年部でございます。

地域コミュニティの衰退によるだんじり祭りを含むコミュニティ活動の担い手の減少や、また、年々増加している観覧客に対する十分な安全対策や希薄化されてきている町会・自治会間の絆を強化する必要があることから、祭りのPR活動や祭礼時の安全対策、また清掃活動等の事業を行うことで地域コミュニティの醸成やだんじり祭りの継承を行うことを目的に事業を実施いたしました。

事業の成果といたしましては、10月11日に和泉府中駅周辺にて18町会のだんじりによるパレードが開催されており、その際に高齢者や障がい者の方々がだんじり祭りを楽しめるよう、福祉席を設置し、また、地域活動の担い手を増やすためにだんじり祭りのPRを行ったり、観客が安全にだんじり祭りを楽しめるよう綿密な事前準備やボランティアによる警備員を配置したり、AEDなども配備し安全対策を実施したことによって、観覧客を巻き込んだ事故等は一切なく、だんじりを介しての地域コミュニティの醸成と伝統文化の継承、地域の活性化を図ることができたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入2,230,000円に対し決算書では、1,685,622円となっており、544,378円の収入減となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず、印刷製本費につきまして、当初予算額600,000円に対し、決算額が288,000円となっており、312,000円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算の都合上、卓上カレンダーを作成しなかったことが主な要因でございます。

次に委託料につきまして、当初予算額350,000円に対し、決算額が259,092円となっており、90,908円の減額となっております。減額の理由といたしましては、福祉席の設営を当初予算で多く見込んでいたことが主な要因でございます。

次に消耗品費につきまして、当初予算額600,000円に対し、決算額が468,296円となっており、131,704円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存の物を使用することにより、購入を削減したことが主な要因でございます。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号26 はつが野街づくり推進委員会でございます。

はつが野校区では新しい住民の方が増加しているが、その一方住民同士のつながりが希薄であり、また世代間のつながりも希薄であることから、住民同士のつながり、子どもと地域とのつながりを強固なものとするを目的として、地域が一体となれるイベントを実施いたしました。

事業の成果といたしまして、イベントの活動を通じて、コミュニケーションを図り、親睦を深めることにより連帯感を養うことができ、様々な世代間の交流を図り、共同意識が生まれ、お互いに助け合う土壌づくりができたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入1,628,112円に対し決算書では、1,531,464円となっており、96,648円の収入減となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず、消耗品費につきまして、当初予算額400,000円に対し、決算額が448,063円となっており、48,063円の増額となっております。増額の理由といたしましては、当初予算額より多くの来場者を見込み、模擬店の経費を増加したことが主な要因でございます。

次に印刷製本費につきまして、当初予算額50,000円に対し、決算額が21,285円となっており、28,715円の減額となっております。減額の理由といたしましては、インターネットで印刷を発注することにより安価で作成できたことが主な要因でございます。

次に委託料につきまして、当初予算額250,000円に対し、決算額が205,200円となっており、44,800円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算時に音響の数を多く見込んでいたことが主な要因でございます。

次に使用料につきまして、当初予算額400,000円に対し、決算額が281,426円となっており、118,574円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算時、テントのレンタルを見込んでいたが、小学校でレンタルすることができ、テントのレンタル料を削減できたことが主な要因でございます。

次に食料費につきまして、決算額が25,805円となっております。内容といたしましては、当日、設営準備での水分補給のための飲料代でございます。

最後に、対象外経費としてスタッフの弁当及び抽選会の賞品購入費として354,687円を計上されております。

以上が実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号31 いずみ高齢者問題懇談会「お元気ですか」でございます。

全国的に高齢化社会となっているが、信太、鶴山台地域は特に高齢化率が高く独居老人世帯も増加し交流が難しくなっていることから、老若男女、幅広い世代の交流を生み、活発でいきいきと安心して暮らせる地域を目標に事業を実施いたしました。

事業の成果といたしましては、地元の幼稚園・中学校の音楽演奏や地域出身歌手のライブ、模擬店の出展、熟年体操や民謡など老若男女すべての方々が参加でき、イベントを通じて、幅広い年代の交流を図ることができた。また、地域の拠点となる北部リージョンセンターでイベントを開催することで、地域の方にセンターの場所や利用しやすい施設であるということも周知することができ、利用促進のきっかけづくりにもなったとい

った内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入700,000円に対し決算書では、421,303円となっており、278,697円の収入減となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

報償費につきまして、当初予算額300,000円に対し、決算額が200,513円となっており、99,487円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初「ケラケラ」の出演を考えており、予算を多く見込んでいたが、都合がつかず、呼べなかったことが主な要因でございます。

次に食料費につきまして、当初予算額30,000円に対し、決算額が15,200円となっており、14,800円の減額となっております。減額の理由といたしましては、出演者を減らしたことが主な要因でございます。

次に印刷製本費につきまして、当初予算額150,000円に対し、決算額が19,780円となっており、130,220円の減額となっております。減額の理由といたしましては、当初、横断幕の作成を計画していましたが、予算の都合上、のぼりに変更し、また、チラシ、ポスターもインターネットで発注することで、安価で購入できたことが主な要因でございます。

次に役務費につきまして、決算額が1,276円となっております。内容といたしまして、郵送料、振込手数料でございます。

次に使用料につきまして、当初予算額60,000円に対し、決算額が48,300円となっており、11,700円の減額となっております。減額の理由につきましては、集会所が予約の都合上、半日しか予約をとることができなかったことが主な要因でございます。

以上が実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号35 一般社団法人和泉青年会議所でございます。

事業の内容といたしましては、「第4回わんぱく相撲 和泉場所」を実施しており、近年、ゲームなど一人で遊ぶ子どもが増えている中、子ども同士のつながりも希薄になりつつあることから、国技である相撲を通じて、礼儀や思いやりの心を育み、子供たちの心身の鍛錬と健康の増進を図ることを目的に相撲大会を実施されました。

事業の成果といたしましては、学年ごとにトーナメント形式で実施され、相撲を通じて挑戦する勇気や痛みを知り、地域住民から拍手を受ける体験ができ、また、挨拶などの礼儀や感謝を体感することができた。試合終了後に、参加した子ども達と「ちゃんこ」を食べ、子ども同士が自然とふれあいことができたといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入1,000,000円に対し決算書では、565,219円となっており、434,781円の収入減となっております。

次に支出の部をご説明させていただきます。

主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。

まず、消耗品費につきまして、当初予算額210,000円に対し、決算額が101,140円となっており、108,860円の減額となっております。減額の理由といたしましては、消耗品費に計上しておりました色紙の印刷を印刷製本費に費目を変更した

ことが主な要因でございます。

次に、印刷製本費につきましては、当初予算額200,000円に対し、決算額が299,824円となっており99,824円の増額となっております。増額の理由といたしましては、色紙の印刷を消耗品費から費目を変更したことが主な要因でございます。

次に、委託料につきましては、当初、聖神社で実施する予定でありましたが、神社の都合上、使用することができず、国府小学校体育館で実施したため、土俵整備・除草作業が不要になり、決算額が0円となっております。

次に、原材料費につきましては、当初予算額50,000円に対し決算額が18,122円となっており、31,878円の減額となっております。減額の理由といたしましては、体育館で実施したため、土俵の土や竹の購入が不要になったことが主な要因でございます。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

以上、実績報告の提出がありました9団体の概要でございます。

事務局と致しまして、これらの団体より提出された実績報告書及び事業報告書、収支決算書を精査させていただいた結果、対象事業を適正に遂行されたものと解しております。これをもちまして、実績報告のありました9団体について説明を終わらせていただきたいと思っております。

【会長】

はい。ありがとうございます。では審査に入りたいと思っておりますが、団体番号4番 鶴Oneフェスタ実行委員会でございますが、今年で一度終わるということですか。

【事務局】

10年間活動をしてきたが、だんだん祭りが大きくなってきて中で、活動されている方が高齢化になりつつある事から、何らかの形では今年度もされるが、鶴Oneフェスタでの活動は一旦終了すると聞いております。

【会長】

はい。それでは、団体番号5番 ミータスコア・グループ未来ですが、いかがでしょうか。

【委員】

この説明の中で領収書が適正でなかったという説明がありましたが、どんな内容でしょうか。

【事務局】

印刷製本費をインターネットで注文したら、代引き手数料として受け取る時に領収書に領収印が押されてなかった物がありまして、領収印がなければ対象外にさせていただくという事で話をさせていただきました。

【会長】

業者の方が押し忘れたということですか。

【事務局】

はい。そこについては分からないという回答でありました。

【会長】

はい。分かりました。では続いて、団体番号9番 北松尾校区ふれあいフェスタ実行委員会はいかがでしょうか。

【委員】

これは、かなり当初の予算から減額になっていまして、一つは支援金が少なかったと

というのが原因で、その時は自主財源、協賛金を頑張って増やしていただこうと思いましたが、これも減っているようで、事業も実施されて一定の効果は見られているということですのでよろしいでしょうか。

【事務局】

実施日も選挙の日だったが、非常に多くの来場者数であったと聞いています。模擬店も予想以上に盛り上がり、半日で売り切れになったと聞いています。

【委員】

報告書を見る限りでは、効果があったと見受けられるので非常に良かったと思います。

【会長】

役員の交代期のずれでこれだけの減額というのは、頑張って集めてたのが、うまくいかなかったのでしょうか。

【事務局】

実行委員会の中で舞台も手作りで、皆で協力し合ったと聞いています。

【会長】

では、団体番号10番 伯太フェスタ実行委員会はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

はい。それでは、団体番号12番 ガールスカウト大阪府第28団はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

はい。次に団体番号15番 和泉だんじり大連合青年部はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

はい。続いて団体番号26番 はつが野街づくり推進委員会はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

続いて、団体番号31番 いずみ高齢者問題懇談会「お元気ですか」はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

続いて、団体番号35番 一般社団法人 和泉青年会議所はいかがでしょう。

(異議なしの声)

【会長】

では、全団体とも認めるという事にします。全体を通して、何か意見がありましたら、お願いします。

【委員】

団体番号5 ミータスコア・グループ未来は、自力でやっていけそうな感じがするが、毎年同じ内容で、又、次のステップに進んでいくのもいいのかなと思います。チケットが売れるというのは、それだけファンが多いという事なので、もう少し、市民活動という事なので、少し発展していってもらいたいというように思います。

【事務局】

確かに安定しているので、今後活動を発展させていただけたらと思います。又、代表の方にNPO法人での活動をされないかという話をさせていただこうと思っています。

【会長】

ぜひ、次のステップに何か考えていただきたいと思います。

それでは、次第3のその他事務連絡について、事務局の方からお願いします。

【事務局】

平成27年度、28年度の今後のちよいずの事業スケジュールについて説明させていただきます。

まず、平成27年度から説明させていただきます。第4回目判定会が本日、9団体を審査させていただきました。第5回目の実績報告が3月末を予定しています。残りが19団体ですのでよろしくをお願いします。

次に平成28年度のスケジュールを説明させていただきます。2月1日から2月29日の間で届出期間があり、2月の広報誌に団体紹介冊子や選択届出用紙を全戸配布させていただきます。3月下旬に選択届出の結果報告をさせていただきます。選択届出結果を公表した後、変更交付申請を受け付けさせていただき、4月中旬頃、第1回目の判定会、変更交付申請等の審査を予定させていただいています。参加団体との意見交換会も開催する予定となっています。以上です。

【会長】

はい。それではこれにて本日の判定会は終了します。